

目標達成計画

作成日: 平成 29年 10月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	現在、食事の副食全て厨房からの提供である。自分達で献立を考え買い物に出掛ける機会が少ない。	献立をみんなで考え買い物に出かけ食事作りを行なうことで、入居者の想いを汲み取り、生活に対する意欲を引き出し役割や楽しみにつなげる。	1. 月に1回厨房からの食事を止め(昼食)手作りの食事を提供する。 2. 献立を考える ・日頃の会話の中で季節感や回想を取り入れ、献立を考えたり食事作りを通して、生活の意欲を引き出す 3. 買い物に行く ・地域のスーパーに買い物に出掛ける機会を増やす ・買い物リストを作成する 4. 食事作りを行なう ・入居者一人ひとりが役割を持ち、取り組めるように支援する	12ヶ月
2	6	現在、入居者の中には問題行動で困っている事例はないが、困難事例が発生する前に対人援助や認知症の正しい理解を再度確認する必要がある。	再度認知症の理解を深め、専門職としての意識をもち対人援助等を適切にでき、入居者が安心して笑顔で暮らすことができるようにする	1. 対人援助の研修会に参加する(11月) 2. 参加した職員がまとめ伝達講習会を開催する 12月、1月 3. 学んだことをケアに活かし実践する 4. 期末に振り返りを行なう	6ヶ月
3					
4					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。